

国際コンファレンス アジア市場の統合と金融革新



セッション1：世界金融危機後の金融市場改革とアジアへのインプリケーション

世界金融危機後の金融市場改革とアジアへのインプリケーション

ジャスパル・シン・ビンドラ

スタンダードチャータード銀行グループ常務取締役兼アジア最高統括責任者

概要

昨今の世界金融危機において、その影響を受けたそれぞれの国で金融市場の改革が行われてきた。しかし世界的な金融市場の変化のスピードや各国経済間の関連性の強さに鑑みると、すべての主要国の政策担当者が連携し、今後金融危機が発生した場合に各国が協調して対応する仕組みの構築が不可欠であり、G20・金融安定理事会（FSB）・BIS・IMFなどの国際機関や会議はこうした取り組みに着手している。特に各国の銀行を対象としたさまざまな世界的金融改革がすでに決定されており、バーゼルIIIの枠組みの下で、自己資本比率や流動性に関する新しい規制など、個々の金融機関を対象としたマイクロプルーデンス政策が順次発表され、詳細な実施内容が検討されている段階である。またマクロプルーデンス政策についても、反循環的な資本バッファや、世界的にシステム上重要な金融機関（SIFI）に対する評価とその破綻処理計画に関する議論が進んでいる。本スピーチでは、現在の経済情勢の中この規制改革の動きをどう見るか、リスク管理とガバナンスの重要性、さらにアジア市場における規制当局および金融機関の役割について言及する。